

関東学連における外部大会の選抜方法

開催期間	大会名	選考方法
4月第1週	グローバル東京ボウリングトーナメント	前年度秋季アベレージ上位より選出（学連オープン終了時点）但し、新役員の参加希望のある場合、優先的に選出する。
5月第3週	全日本選抜選手権大会	前年度年間アベレージ上位（70G以上の投球が必須）より男女各上位1名を選出。
6月第1週	オールジャパンレディーストーナメント	前年度秋季アベレージ上位（70G以上の投球が必須）より選出。学連1年目の選手に関しては、過去の実績を考慮し、出場を認める場合もある。
7月第1週	東日本選手権大会	前年度秋季アベレージ上位（70G以上の投球が必須）より選出。学連1年目の選手に関しては、※1を適用し、選出する。
8月第2週	U22 Fukuoka Summer Cup	オープン大会 (※そのため学連からの補助金は出ない)
8月第4週	関東地区ダブルス競技大会	チームの春期アベレージの平均上位より選出（7月月例終了時点。30G以上の投球が必須）
10月第2週	関東地区選手権大会	① 春期の投球ゲーム数が50G以上の場合 →春期のアベレージをアベレージとして用いる ② 春期の投球ゲーム数が50Gに満たないが、前年度秋季の投球ゲーム数が70Gを超えてる場合 →以下の計算式（※2）を用いてアベレージを算出する ③ 春期の投球ゲーム数が50G未満、前年度の秋季ゲーム数が70G未満の場合、関東学生選手権大会マスターズ戦において上位16位に入った場合のみ、春期アベレージをアベレージとして用いる。 ①～③で定まるアベレージの最上位より選出
10月第4週	全日本新人選手権大会	同上
2月第2週	全日本年齢別選手権大会	① 12月の大会終了時点で周期の投球ゲーム数が50G以上の場合 →秋季アベレージをアベレージとして用いる ② 秋季の投球ゲーム数が50Gに満たないが、春期の投球ゲーム数が50G以上の場合 →以下の計算式（※3）を用いてアベレージを算出する
3月第3週	全日本選手権大会	【男子】（※4） ① 全日本大学選手権大会12G以上投球者アベレージ上位6名 ② ①を除く全日本大学個人選手権大会の上位6名 【女子】（※4） ① 当該年度全日本ナショナルメンバー ② ①を除く全日本大学選手権大会12G以上投球者アベレージ上位6名 ③ ①②を除く全日本大学個人選手権大会の上位6名

※1

当該年度の全日本選抜選手権大会の参加資格を有する者。

※2

$((\text{春期アベレージ}) \times (\text{春期投球ゲーム数}) + (\text{前年度秋季アベレージ}) \times (70 - (\text{春期投球ゲーム数}))) \div 50$

※3

$((\text{秋季アベレージ}) \times (\text{秋季投球ゲーム数}) + (\text{春期アベレージ}) \times (50 - (\text{秋季投球ゲーム数}))$

※4

全日本選手権にはナショナルメンバーは参加義務があります。そのためナショナルメンバーに加え、全日本大学選手権・全日本大学個人選手権からの参加人数は、毎年適宜変更するようにしてください。その際、9月ごろまでに各連盟に選考方法を通知すること。